

**コンゴ(民)月例報告**  
**政治関連**  
**2017年4月**

**主な出来事**

- 5日、カビラ大統領は国民議会、上院、外交団らを前に、コンゴ(民)の現状に関する演説を行い、野党プラットフォーム「Rassemblement」のコンセンサスが形成されれば、これから48時間以内に新首相を任命すると発言した。
- 7日、バディバンガ首相は大統領府に辞表を提出した。
- 7日、カビラ大統領は大統領令により、ブルーノ・チバラを首相に任命した。
- 8日、チバラ新首相の任命に関し、ベルギー、EU代表部等が懸念を表明した。
- 10日、シェ・オキトウンドウ副首相兼外務・地域統合大臣は、ベルギーとEU代表部による、チバラ首相の任命に関する声明に反論。相手国がウィーン条約の義務を遵守しない場合には、同条約第9条により、ペルソナ・ノン・グラータであることを通告することができたと述べた。
- 13日、ベルギー防衛省は、コンゴ(民)政府がベルギーとの軍事協力を中断する決定を行ったと伝えた。
- 13日、ラマザニ・シャダリ内務・治安大臣は、政府や治安関係者らとともに、中央カサイ州の治安回復を目的とするミッションのため、カナンガ市を訪問した。
- 17日、新たな伝統的酋長カムウィナ・ンサブにジャック・カベヤ氏が指名された。同氏はキンシャサ生まれのキンシャサ育ちで、父親から引き継いだ遺産により、トーゴ、コートジボワールやキンシャサ市に複数の不動産会社を経営する実業家。
- 22日、カビラ大統領は2日間のエジプト訪問のため、カイロに到着、エルシーシ大統領と、防衛、エネルギー、投資等に関する会談を行った。
- 24日、カビラ大統領は CEEAC(中部アフリカ諸国経済共同体)議長でもあるボンゴ・ガボン大統領の招待に応じてガボンを訪問した。フランスビルで行われたボンゴ大統領との会談では、CEEACの機構改革、地域の経済統合及び二国間関係について話し合われた。

**1. 内政**

**(1)カビラ大統領が12月31日合意に署名の関係者と協議**

・3日-4日、カビラ大統領は、昨年12月31日の政治合意に署名した様々な政治アクターと2日間にわたり協議を行った。協議参加者は主なコンセンサスとして、首相の任命は、憲法第78条にもとづき、大統領がその権限を有すること、合意フォローアップ国家評議会(CNSA)の新議長に指名される人物は、その前任者の例にならない、合意関係者のコンセンサスを得ることを確認した。

**(2)カビラ大統領が国会で演説**

・5日、カビラ大統領は国会議事堂(Palais du Peuple)で、国民議会、上院、外交団らを前に、コンゴ(民)の現状に関する演説を約30分間にわたって行い、野党プラットフォーム「Rassemblement」のコンセンサスが形成されれば、これから48時間以内に新首相を任命すると発言した。

**(3)バディバンガ首相の辞任**

・7日、バディバンガ首相は大統領府に辞表を提出した。今回の辞任は、カビラ大統領が国会で、48時間以内に新首相を任命すると述べた演説の48時間後に行われた。

#### (4)チバラ新首相の任命

- ・7日、カビラ大統領は大統領令により、ブルーノ・チバラ(Bruno TSHIBALA NZENZHE)を首相に任命した。
- ・10日、シェ・オキトウンドゥ副首相兼外務・地域統合大臣はベルギーと EU 代表部による、チバラ首相の任命に関する声明への反論声明を出した。同声明では、新首相の任命は12月31日の政治合意に従ったものであり、相手国がウィーン条約の義務を遵守しない場合には、同条約第9条により、いつでも、理由を示さず、ペルソナ・ノン・グラータであることを通告することができることを指摘した。

#### (5)コンゴ(民)政府がベルギーとの軍事協力中断を決定

- ・13日、ベルギー防衛省のモルティエ報道官は、コンゴ(民)政府がベルギーとの軍事協力を中断する決定を行ったと述べた。同報道官によると、キンシャサ駐在の軍事アタシェが、コンゴ(民)政府から同決定に関する書簡を受け取った。ベルギーによるコンゴ(民)国軍(FARDC)に対する協力は、主に訓練分野で行われており、ベルギー軍は約100名の軍事教官をコンゴ(民)に派遣している。また、FARDC の幹部候補生には、ブリュッセルにある王立軍事学校の卒業生も多数いる。今回のコンゴ(民)政府による決定は、チバラ新首相の任命に関するレンデルス・ベルギー副首相兼外務大臣の8日付コミュニケが背景となっていると推測される。

#### (6)オー・カタンガ州知事の罷免

- ・18日、オー・カタンガ州議会は、24名の州議会議員による全員一致で、カゼンベ州知事(Jean-Claude KAZEMBE)の不信任決議を可決した。
- ・23日、ラマザニ・シャダリ副首相兼内務・治安大臣は、セレスタン・パンデ(Celestin PANDE KAPOPO)州経済大臣を、州知事代行に任命したと発表した(23日付 Politico)。

#### (7)野党の動向

##### ア 野党プラットフォーム「Rassemblement」によるゼネストの呼びかけ

- ・3日、野党プラットフォーム「Rassemblement」等がゼネラル・ストライキ(ville morte)を呼びかけ、キンシャサ市とルブンバシ市は閑散となった。キンシャサ市は午前8時の時点で、商店、ガソリンスタンド等は閉店、公共交通の量は少ないものの、多数の人々が、キンシャサ市東部の住宅密集地から市の中心部にある職場に向けて、徒歩で向かっている様子が観察された(3日付 AFP)。

##### イ UDPS による平和的行進の呼びかけ

- ・10日、野党 UDPS は、全国における平和的行進の実施を呼びかけた。
- ・9日夜、コンゴ(民)国家警察(PNC)報道官は、10日に予定されている平和的行進の行程が暴動の兆しを含んでいることから、キンシャサと全国で同行進を禁止したと発表した。これにより10名以上の集まりは解散させられる。
- ・11日午前、ムワナムプトゥ PNC 報道官は、キンシャサ市では、当局による行進禁止の命令に背こうとしたなどとして、34名を逮捕・拘束したと発表した。同報道官によると、同日夜には、これら34名は全員釈放された。
- ・人権 NGO のヒューマン・ライツ・ウォッチ(HRW)はコンゴ(民)に関するブログ上で、コンゴ(民)各地(キンシャサ、ブカヴ、キンドゥ、ルブンバシ、コンゴロ、カミナ、ンブジマイ)で、80名以上が治安当局(警察、軍、国家情報局(ANR))により逮捕されたと述べた。AFP からの問い合わせに対し同 NGO は、この数字はこれまでに釈放された人数であり、引き続き勾留中の人数は含まれていないと回答した。

##### ウ チバラ新首相の任命に関するフェリックス・チセケディ UDPS 副幹事長の反応

- ・9日、フェリックス・チセケディ副幹事長は、カビラ大統領によるチバラ首相の任命に関し、同大統領は、深刻な政治的危機に直面しているコンゴ(民)の民主化プロセスにおける主要な障害である

と非難した。空港関係者によると、この記者会見後、(自党が呼びかけた平和的行進を前に)同副幹事長は、空路アディスアベバに向かった。

## エ チバラ新首相の任命に関する CENCO の反応

・21日、ンシヨレ・コンゴ・カトリック司教会議(CENCO)事務局長は記者会見で、7日に行われたチバラ首相の任命方法について、大統領と野党プラットフォーム「Rassemblement」との協議が行われていないことから、CENCO が調停を行った12月31日政治合意に違反するとの見解を述べた。

## オ 故チセケディ UDPS 党首の遺体が5月12日に帰国予定

・22日、カブンド UDPS 幹事長は記者会見で、故エチエンヌ・チセケディ UDPS 党首の遺体は5月12日にキンシャサに戻る定で、当地に埋葬されると述べた。

## 2. 外交

### (1)カビラ大統領がエジプトを訪問

・22日、カビラ大統領は2日間のエジプト訪問のため、カイロに到着、エルシーシ大統領と、防衛、エネルギー、投資等に関する会談を行った。

### (2)カビラ大統領がガボンを訪問

・24日、カビラ大統領は CEEAC(中部アフリカ諸国経済共同体)議長でもあるボンゴ・ガボン大統領の招待に応じてガボンを訪問した。フランスビルで行われたボンゴ大統領との会談では、CEEAC の機構改革、地域の経済統合及び二国間関係について話し合われた。

## 3. 東部及び大湖地域情勢

### (1)元南スーダン反政府勢力の人質となった MONUSCO 職員16名が無事解放

・18日、国連関係者は匿名で、北キブ州ゴマ市近郊のムニギ(Munigi)キャンプで、元南スーダンの反政府勢力に人質にとられた16名の MONUSCO 職員が、同日、無事に解放されたと述べた(18日付 AFP)。

## 4. カサイ情勢

### (1) ラマザニ・シャダリ内務・治安大臣が中央カサイ州カナンガ市へ10日間のミッション、新カムウィナ・ンサブの指名

・13日、ラマザニ・シャダリ内務・治安大臣は、政府や治安関係者らとともに、同地域の治安回復を目的とするミッションのため、カナンガ市を訪問した。

・17日、新たな伝統的酋長カムウィナ・ンサブが指名された。ラマザニ・シャダリ副首相兼内務・治安大臣とンサブの家族らとの二日間にわたる内々の協議の末、家族は新たな伝統的酋長にジャック・カベヤ(Jacques Kabeya wa Ntumba)を指名したと、同氏の弟であるンカシヤマ氏は伝えた。同氏はまた、誰の徳にもならない紛争を続けることは出来ず、紛争はもう起こらないと説明した。

・ジャック・カベヤはキンシャサ生まれのキンシャサ育ち。修学のため、数年間をベルギーで過ごし、現在は妻と4人の子どもとともにベルギーで暮らしていた。父親から引き継いだ遺産により、トーゴ、コートジボワールやキンシャサ市に複数の不動産会社を経営する実業家(19日付 RFI)。

### (2)国連専門家殺害の容疑者が逮捕、コンゴ(民)政府が殺害の様子を撮影したビデオを公開

・14日、ボンデ・コンゴ(民)国軍(FARDC)監査官は、中央カサイ州で2名の国連専門家の殺害に関与したと見られる容疑者2名を逮捕・尋問したと発表した。逮捕されたのは、Daiel Mbayi Kabasele(注:同姓同名の国民議会議員とは別人)で、現在、中央カサイ州カナンガ市の軍検事局に勾留されている。共犯を疑われていたもう1名の容疑者は、監視していた警察官4名の目を盗

み逃亡した。

- ・24日、コンゴ(民)政府は、中央カサイ州で死亡した国連専門家2名が殺害されたビデオを公開した。ビデオに写った白人の男女は、国連専門家 Michael Sharp 氏(米国人)と Zaida Catalan 氏(スウェーデンとチリの二重国籍)の特徴に合致している。
- ・24日、国連は、コンゴ(民)当局が国連専門家2名の殺害を示すビデオを公開したことについて、調査の妨げとなる決定であると非難した。コンゴ(民)当局は、当局への疑いを晴らす目的でビデオを公開していたが、国連広報官の Stephane-Dujarric は、ビデオは本物であると明言した上で、「ビデオは犯罪の証拠であり、公開すべきものではないと考える。犠牲者の家族にとって、どれだけショックであろうか。」と述べた。

### (3)アンゴラがカサイ州との国境警備を強化

- ・19日、アンゴラ当局は、コンゴ(民)カサイ州における暴力的状況を逃れた難民の流入ポイントである、同国とカサイ州の国境地域における警察官の配備を増強すると発表した。同国への武装勢力の侵入を防ぐのが目的(19日付ルアンダ発 AFP)。

## 5. その他

### (1)チバラ新首相の任命に関する主要国の反応

- ・8日、レンデルス・ベルギー副首相兼外務大臣はコミュニケを発表、チバラ新首相の任命は、12月31日合意の内容と精神から逸脱しており、コンゴ(民)の移行期政権が、求められる幅広い支持を得ていないと懸念を表明、パートナー各国と、コンゴ(民)との関係に関し協議すると述べた。
- ・8日、当地 EU 代表部は声明を出し、今回行われた新首相の任命は、昨年12月31日政治合意の内容と精神に反しており、コンセンサスの欠如に関し、EU 代表部は非常に懸念していると述べた。また、平和的進歩の権利は、すべての政治プロセスの必然的帰結であると念を押し、治安当局責任者による過度な警察力の使用を避けるよう求めた。
- ・8日、シディク MONUSCO 代表はコミュニケで、チバラ新首相の任命を認め、コンゴ(民)の歴史的局面における、政治アクターすべてに課せられた責任の重さを強調したと述べた。
- ・10日、仏外務省は声明を出し、新首相の任命を確認、この上で、昨年12月31日の政治合意を尊重せず、コンセンサスを欠く今回の任命を大変懸念していると述べた。
- ・11日、在コンゴ(民)米大使は声明を出し、新首相の選出に際し、昨年12月31日の政治合意における署名者が合意に達しなかったことに失望していると述べた。また、米は、コンゴ(民)の民主主義を壊すような人物に対し、それが政府側であれ野党側であれ、制裁を科す用意があると付け加えた。

### (2)シディク MONUSCO 代表と政治アクターの面会

- ・15日、シディク SRSG は、チバラ新首相と面会し、選挙の早期実施に向け、「誰ひとりとして除外されず、最大限の団結を助けるのが我々の役目であり、支援のため最大限の努力を行う」と伝えた。
- ・16日、シディク SRSG は、野党プラットフォーム「Rassemblement」の代表と面会した。同面会の目的は、チバラ新首相とシディク SRSG の面会後に、シディク SRSG が行った声明の解釈に関する誤解を払拭すること。

### (3)SADC 代表団による政治アクター間の調停

- ・18日から、マヒガ・タンザニア外相を団長とする南部アフリカ開発共同体(SADC)の代表団は、12月31日政治合意とその個別事項の実施に向けた意見交換のため、キンシャサを訪問した。